

2019 年度  
一般社団法人神奈川県作業療法士会  
第 6 回 社員総会  
議案書

期日：2019 年 5 月 19 日（日）

午前 9 時 45 分～12 時 00 分（受付時間 9 時 30 分～）

会場：かながわ労働プラザ

住所：神奈川県横浜市中区寿町 1 丁目 4

電話：045-633-5413

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <http://kana-ot.jp/>

E-mail：[jimu@kana-ot.jp](mailto:jimu@kana-ot.jp)

（JR 根岸線関内駅より徒歩 10 分）

## 目 次

総会次第	2
一般社団法人神奈川県作業療法士会 平成 30・31 年度 社員一覧	3
一般社団法人神奈川県作業療法士会 中・長期計画	6
報告事項 2018 年度（平成 30 年度）事業報告、決算報告ならびに監査報告	7
決議事項 第 5 号議案 特設委員会の設立について	31
第 1 号議案 2019 年度（令和元年度）事業計画（案）	31
第 2 号議案 2019 年度（令和元年度）予算（案）	41
第 3 号議案 規約の変更について	43
第 4 号議案 理事改選について	44

## 資 料

・ 2018 年度（平成 30 年度）後援・協賛等一覧	45
・ 2018 年度（平成 30 年度）賛助会員一覧	46
・ 2018 年度（平成 30 年度）名誉会員一覧	46
・ 2018 年度（平成 30 年度）他組織・団体等の県士会代表委員名簿	46
・ 一般社団法人 日本作業療法士会 特別表彰者一覧	46
・ 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図	48
・ 第 5 期（2017・2018/平成 29・30 年度）理事・監事名簿	49
・ 第 4 期（2018 年度/平成 30 年度）各部・委員名簿	50
・ 各部・委員会分掌事項	51
・ 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2018 年度/平成 30 年度版)	53

## 2019 年度（令和元年度）一般社団法人神奈川県作業療法士会

### 第 6 回 代議員総会 総会次第

1. 開会のことば
2. 議長団選出（議長、副議長）
3. 総会役員選出（書記、議事運営委員、議事録署名人）
4. 会長挨拶
5. 議事運営委員会報告
6. 総会成立宣言
7. 報告事項  
一般社団法人神奈川県作業療法士会 中・長期計画  
2018 年度（平成 30 年度）事業報告、決算報告ならびに監査報告  
決議事項  
第 5 号議案 特設委員会の設立について  
第 1 号議案 2019 年度（令和元年度）事業計画（案）  
第 2 号議案 2019 年度（令和元年度）予算（案）  
第 3 号議案 規約の変更について  
第 4 号議案 理事改選について
8. 議長団の解任
9. 閉会のことば
10. 県士会表彰式

一般社団法人神奈川県作業療法士会  
2017・2018年度（平成29・30年度）社員一覧

定数：70名 定数算定日：2017（平成29）年10月1日  
登録社員数：70名 登録日：2018（平成30）年  
平成30年4月1日現在登録社員数：60名

【内訳】Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：39名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く地域に勤務している正会員）：31名

\*所属は2019年3月末現在 A・Bブロックは代議員立候補時

Aブロック 39名

	氏名	所属
1	渋江 拓郎	えびな脳神経外科
2	杉田 雄大	横浜なみきりハビリテーション病院
3	片岡 直人	湘南慶育病院
4	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院
5	山岡 洸	湘南慶育病院
6	内山 博之	横浜リハビリテーション専門学校
7	佐々木 秀一	北里大学病院
8	湯澤 大輔	自宅会員
9	佐藤 隼	さがみりハビリテーション病院
10	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな
11	神保 武則	北里大学病院
12	魚岸 実弦	メンタルホスピタルかまくら山
13	作田 浩行	昭和大学保健医療学部
14	福嶋 祐子	汐田総合病院
15	金山 桂	介護老人保健施設 千の風川崎
16	福留 大輔	イムス横浜狩場脳神経外科病院
17	牧山 大輔	横浜新都市脳神経外科病院
18	宮崎 道輝	北里大学病院
19	名古屋 和茂	横浜 YMCA 学院専門学校
20	錠内 広之	日本鋼管病院
21	森田 満恵	横浜市立みなと赤十字病院
22	川上 新	済生会 東神奈川リハビリテーション病院
23	小池 志織	介護老人保健施設横浜シルバープラザ
24	池嶋 孝二	ほほえみ訪問看護リハビリステーション
25	吉田 倫子	国際親善総合病院
26	金沢 隆之	相模原市役所
27	森木 勇一郎	介護老人保健施設 都筑シニアセンター

28	花形 真	介護老人保健施設 相模原ロイヤルケアセンター
29	濱口 陽介	川崎市北部リハビリテーションセンター
30	明立 早香	新戸塚病院
31	糊澤 直美	自宅会員
32	村越 妙美	おおしま訪問看護ステーション
33	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
34	中里 謙吾	総合川崎臨港病院
35	長谷 里恵	横浜リハビリテーション専門学校
36	沼田一恵	自宅会員
37	岩切七彦	新戸塚病院
38	木村修介	合同会社 RURA アイ・エル訪問看護ステーション
39	平野 航希	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院

## Bブロック31名

	氏名	所属
1	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル
2	佐藤 良枝	認知症疾患医療センター 曾我病院
3	藤本 一博	茅ヶ崎新北陵病院
4	和田 尚	脳梗塞リハビリテーションセンター神奈川・ロボットトレーニングセンター神奈川
5	小河原 格也	神奈川県立保健福祉大学
6	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
7	野本 義則	自宅会員
8	山崎 純一	株式会社リーフスタイル
9	澤口 勇	藤沢病院
10	小泉 雅哉	鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
11	西村 彰紀	湘南鎌倉総合病院
12	山根 剛	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
13	甲本 夏穂	国際医療福祉大学
14	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
15	遠藤 毅	茅ヶ崎新北稜病院
16	田中 秀和	自宅会員
17	青木 健	神奈川リハビリテーション病院
18	小砂 哲太郎	久里浜医療センター
19	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター
20	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校
21	平山 康一	JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院
22	神田 崇央	株式会社 Grant
23	佐藤 智子	茅ヶ崎新北稜病院
24	松井 智明	鎌倉市役所ワークステーションかまくら
25	小池 慶政	株式会社 Flexible Creation
26	金子 康	介護老人保健施設湘南わかば苑
27	花宮 徳介	みどり野リハビリテーション病院
28	木下 剛	湘南慶育病院
29	小林 千裕	介護老人保健施設 千の風川崎
30	大郷 和成	遊びりパーク lino'a
31	清野 由香里	えびな脳神経外科

# (一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画 2019 年度～2022 年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会 4 か年計画

スローガン：地域に密着した作業療法を一人ひとりの作業療法士が実行しよう！

神奈川県作業療法士会では、2015 年度から 2018 年度の 4 か年の中・長期計画を設定し、実行してきた。

長期計画として策定してきた「(1) 知識・技術の研鑽」については主に神奈川県作業療法士会会員（以降会員）を対象として各専門分野の講習会や研修会の開催を実施してきた。神奈川県の会員は臨床経験の少ない若手会員が多いので、広く浅く各専門分野の研鑽に務めてきた。学術紙の投稿や学会・臨床大会での発表さらには研究助成など、若手の学術的研鑽の育成には特に力を入れてきたところである。また、ベテラン会員に対しても、個別の専門分野に特化した研鑽ができるような研修会についても年度毎に実施してきた。

「(2) 県民への作業療法の提供と普及」については、特にこの 4 年間においては地域包括ケアシステムの構築に向けてという国の大きな目標に向けて、当士会でも組織体勢を見直してきた。“神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する”という事は当会の定款でも謳われており、国や県・市町村と同一歩調で取り組んでいけるよう、窓口を明確にしてきた。これにより、行政に関わらず他職種との協力も取り付けやすい体勢の基盤作りは出来たものと考えている。

そして「(3) 会員の県士会活動へ積極的に参加できる体制の整備」については、福利部の取り組みを始めとして、各部各委員会でも会員相互の情報交換ということではそれぞれ取り組んできたところである。そんな取り組みの中で、窓口としての事務局の業務整理が必要である事が今後に向けての課題として見えてきた。会員が 2000 名を超えてくると、システム的な整備が必要不可欠であることが分かって来た。

以上を踏まえて、次期 4 カ年中・長期計画（案）を策定した。これは、これまでの取り組みと、そして急速に変化している我々保健・医療を取り巻く環境に柔軟に対応できる事を目的に策定した。

## 1 目的

神奈川県民に対して質の高い作業療法を提供するため、会員の知識・技術向上を図ることは素より、国や県・市町村と協力して、地域に密着した作業療法が展開出来るように、組織強化と整備を行うことを目的とする。

## 2 計画期間

2018 年度策定の計画に従い、長期的な期間を 4 年間、このうち中期的期間として、前期 2019・2020 年度）・後期（2021・2022 年度）の各 2 年間とする。尚、後期中期目標に関しては、2020 年度に新たに提案するものとする。

## 3 中長期計画の内容

- (1) 会員の知識・技術の研鑽
- (2) 公益事業の拡大
- (3) 法人管理の充実と整備

# 報告事項（1）2018年度（平成30年度）事業報告

## 事務局

事務局長 金山桂

### 1. 総会の運営

#### （1）第5回社員総会

日時：2018年5月27日（土）10：00～11：30

会場：かながわ労働プラザ

2018年5月27日現在の代議員総数 70名

出席代議員数 43名 委任状数 27名 議決権の総数 70名

第1～4号議案を成立

### 2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会9回、理事会6回 計15回

#### （1）三役会 第1回 2018年4月4日（水）

第2回 2018年5月14日（月）

第3回 2018年6月6日（水）

第4回 2018年7月5日（木）

第5回 2018年8月10日（水）

第6回 2018年9月20日（木）

第7回 2018年10月4日（木）

第8回 2018年11月8日（木）

第9回 2018年12月6日（木）

第10回 2019年1月10日（木）

第11回 2019年1月30日（水）

第12回 2019年3月7日（水）

#### （2）理事会 第1回 2018年4月19日（木）

第2回 2018年6月21日（木）

第3回 2018年8月23日（木）

第4回 2018年10月18日（木）

第5回 2018年11月27日（火）

第6回 2018年12月20日（木）

第7回 2019年1月24日（木）

第8回 2019年2月14日（木）

第9回 2019年3月22日（金）

### 3. 会員に対する業務・会員の管理に関すること

（1）2018年度入会者：203名

（2）郵便収受：1139通

### 4. 関連団体に対する窓口業務

（1）介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口

県内7市町村（横浜市、平塚市、川崎市、厚木市、小田原市、相模原市、湯河

- 原町、藤沢市)より依頼あり
- (2) 地域ケア会議への参加に関する窓口  
県内4市町村(横浜市、逗子市、茅ヶ崎市、藤沢市)
5. 文書・資料等の管理と発行  
(1) 公文書発行: 第1374号~第1534号 計976通
6. 事務局機能の強化  
(1) 事務局員の就業規則の整備 社労士との打ち合わせ2回  
(2) 事務局物品の整備
7. 資産の維持・管理に関すること
8. 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築  
(1) 事務局会議 計2回(会員確保や情報の周知等について検討  
研修会検討会 計1回(研修会に関する意見交換会  
選挙管理委員会 計2回(理事選挙に向けた調整  
(2) 連携会議 計2回(福利部・公益法人化対策委員会)  
(3) その他 メールで適宜検討
9. 地域エリア化に向けた検討と取り組み  
関連部署を中心としたワーキンググループによる検討会 計8回

## 部

### 財務部

部長 吉本雅一

1. 収入および支出の管理  
(1) 決算書作成  
(2) 予算案編成  
(3) 監査実施  
中間監査: 2018年10月13日 期末監査: 2019年4月13日  
(4) 会計処理確認・整理  
(5) 円滑な会費納入支援
2. 部内会議(随時会議)
3. 合同会議:  
三役会、研修部門会議、エリア化会議、公益化検討関連会議、学会実行員会  
各種会議にて財務関連について検討・助言など
4. 他部門との共同検討  
(1) 公益法人化対策委員会、規約委員会、事務局  
公益化に関する検討、財務管理や財務基盤の整備と強靱化についての検討  
(2) 事務局: 財務状況の詳細把握、書類・マニュアルの整理・更新検討

- (3) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査
- (4) エリア化：県内のエリア化検討事業に関する予算の相談・検討
- (5) 学会実行委員会：学会の財務処理に関する助言・支援

## 学術部

部長 佐々木秀一

### 1. 研修会事業（スキルアップ研修事業）

#### (1) 身体障害系企画 4 回

##### 1) 『CI療法の理論と実践』

日にち：2018年9月24日（月・祝）会場：北里大学相模原キャンパス

講師：高橋 香代子氏 作業療法士（北里大学）

竹林 崇 氏 作業療法士（吉備国際大学）

参加数：115名

##### 2) 『高次脳機能障害の作業療法～明日から使える，治療につながる評価の実際～』

日にち：2018年10月20日（日）会場：済生会横浜市東部病院

講師：森下 史子氏 作業療法士（済生会横浜市東部病院）

参加数：43名

##### 3) 『リウマチの作業療法～私たちOTにできること，スプリント療法を中心に～』

日にち：2018年11月23日（金・祝）会場：横浜南共済病院

講師：中西 理佐子氏 作業療法士，長岡 章平氏 医師，

鈴木 良江氏 薬剤師，牧田 優佳氏 作業療法士，

前田 優 氏 作業療法士（全員，横浜南共済病院）

参加数：27名

##### 4) 『手指・上肢運動麻痺への徒手アプローチ』

日にち：2019年1月20日（日）

会場：済生会東神奈川リハビリテーション病院

講師：田邊 浩文氏 作業療法士（湘南医療大学）

参加数：37名

#### (2) 精神障害系企画 3 回

##### 1) 『入院治療と地域支援をつなぐ～私たちができる精神科作業療法～』

日にち：2018年9月2日（日）会場：ハーモニーとよおか

講師：榎澤 直美氏 作業療法士（湘南医療大学）

参加数：22名

##### 2) 『認知症の生活支援で私たちができること』

日にち：2018年12月9日（日）会場：カルッツかわさき

講師：渡邊 信介氏 作業療法士（介護老人保健施設 鶴舞乃城）

小滝 治美氏 理学療法士（初富保健病院）

参加数：28名

3) 『クライシスプラン&リスク管理』(予定)

日にち: 2019年3月17日(日) 会場: 藤沢市民会館

講師: 星 竜平氏 作業療法士(訪問看護ステーションみのり横浜)

武井 寛道氏 作業療法士(藤沢病院)

立山 和久氏 作業療法士(久里浜医療センター)

参加数: 21名

(3) 臨床実習指導者研修(研究・教育)企画1回

1) 『研究はじめの一步~押さえておきたい研究周辺知識~』

日にち: 2018年12月8日(土) 会場: イムス横浜国際看護専門学校

講師: 内田 健太郎氏 臨床工学士(北里大学医学部整形外科学)

参加数: 25名

(4) トピクス研修企画1回

1) 『作業療法士はじめの一步』

日にち: 2018年6月17日(日) 会場: イムス横浜国際看護専門学校

講師: 友利 幸之助氏 作業療法士(東京工科大学)

参加数: 78名

2. 学術誌刊行事業

- (1) 『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2019 Vol.9 No.1』を発刊。

3. 研究助成事業

本年度から助成申請基準を一部緩和し、研究Ⅰ(研究組織2法人以上の一般会員)と研究Ⅱ(免許取得後7年目までの若手会員)の2課題の募集を行った。書類審査、合議審査において、以下の3課題を承認した。

(1) 研究Ⅰ

・研究代表者 佐野邦典氏 横浜市立大学附属市民総合医療センター

「作業療法が心疾患術後患者におけるせん妄および心身機能に及ぼす影響: 縦断的分析による検討」の1課題を承認。

(2) 研究Ⅱ

・研究代表者 佐藤範明氏 昭和大学附属烏山病院

「精神科スーパー救急病棟における作業療法実践の現状と課題」

・研究代表者 萩原祐氏 湘南慶育病院

「脳卒中重度麻痺患者に対する上肢機能アプローチの方略の解明」の2課題を承認。

## 教育部

部長 奥原孝幸

1. 研修会開催 \*生涯教育制度基礎研修(必修研修)

- (1) 現職者共通研修; 全10テーマ開催 合計720名

- 1) 日にち：2018年10月7日(日) 会場：ウイリング横浜  
「作業療法生涯教育概論」 講師 奥原孝幸氏 参加者数：80名  
「作業療法の可能性」 講師 錠内広之氏 参加者数：72名  
「実践のための作業療法研究」 講師 作田浩行氏 参加者数：82名  
「保健・医療・福祉と地域支援」 講師 田中ゆかり氏 参加者数：81名
- 2) 日にち：2018年10月14日(日) 会場：ウイリング横浜  
「職業倫理」 講師 榎澤直美氏 参加者数：87名  
「作業療法における協業・後輩育成」 講師 岩上さやか氏 参加者数：71名  
「日本と世界の作業療法の動向」 講師 神保武則氏 参加者数：71名
- 3) 日にち：2018年12月23日(日) 会場：ウイリング横浜  
「事例報告と事例研究」 講師 水野 健氏 参加者数：64名
- 4) 日にち：2019年3月10日(日) 会場：ウイリング横浜  
「事例検討」(事例報告会として) 参加者数：56名  
「事例報告」(事例報告会として) 参加者数：56名
- (2) 現職者選択研修；2領域開催(全4領域のうち) 合計110名
- 1) 日にち：2018年12月16日(日) 会場：ウイリング横浜  
「身体障害領域の作業療法」  
講師 田邊浩文氏・大森みかよ氏・藤本一博氏・西尾香苗氏  
参加者数：80名
- 2) 日にち：2019年2月24日(日) 会場：ウイリング横浜  
講師 水野 健氏・小砂哲太郎氏・武井寛道氏・魚岸実弦氏  
参加者数：30名
- (3) 事例報告登録制度研修会  
日にち：2018年12月23日(日) 会場：ウイリング横浜  
講師：奥原孝幸氏 参加者数：59名

## 広報部

部長 神保武則

1. 全体部会の開催 1回(7月)
2. 日本作業療法士協会事業との連携
3. 医療専門職連合会広報部との連携
4. 班活動(県士会ニュース/県民への対外広報)
  - (1) ニュース編集班
    - 1) 運営  
編集長(班長)1名 班員5名
    - 2) ニュースの発行
      - ①発行回数：年6回②発行月：奇数月末に翌月名で発行③印刷部数：約2250部

- ④発行部数：会員（賛助会員含む）+関連団体約 2250 部（11 月時点推測値）
- ⑤規格：A4 縦・8～12 頁・表紙・裏表紙カラー
- 3) ニュース紙面のレイアウト・印刷・発送作業の委託
  - レイアウト・印刷・発注作業をともに高陽印刷所に委託しカラー紙面で、作品写真掲載も続行した。
- 4) ウェブサイト委員会との連携
  - バックナンバーのアップロード
  - 研修会情報や掲載作品募集などで情報発信源部署として連携した。
- 5) 会議開催
  - ①編集および、レイアウトうち合わせ（高陽印刷所にて）年 6 回
  - ②広報部検討会議 1 回（上半期 1 回）
- (2) 対外広報班（作業療法啓発活動）
  - 1) 運営：班長 1 名 ブロック担当 3 名 会計 2 名
    - 班員 12 名(横浜ブロック 5 名 相模原ブロック 7 名 県央ブロック 0 名)
  - 2) 対外広報活動：一般県民・学生・関連職種に対しそれぞれ活動継続
    - ①一般県民を対象とした活動
      - 【横浜ブロック活動】
      - ・ヨコハマヒューマンテクノランド（YOTEC）ブース出展
        - 内容：作業活動体験（和紙のしおりづくり）・作業療法紹介・介護相談等
        - ブース来場者：約 120 名
      - ・横浜市中区民祭「ハローよこはま」での医療専門職連合会と共同ブース出展
        - 内容：認知機能検査体験・作業療法紹介・介護相談
        - ブース来場者：約 80 名
      - ・神奈川新聞主催「介護フェア」ブース出展
        - 内容：自助具紹介・介護相談
        - ブース来場者：約 100 名
      - ・川崎市「介護いきいきフェア」ブース出展
        - 内容：自助具・介護相談ブース出展
        - ブース来場者：約 30 名
      - 【相模原ブロック活動】
      - ・相模原市民祭「さくらまつり」ブース出展
        - 内容：自助具作成体験・自助具紹介・介護相談
        - ブース来場者：約 100 名
      - 【県央ブロック活動】
      - ・9 都県市合同防災訓練（ビックレスキューかながわ）ブース出展
        - 内容：災害時の環境（段ボールベッド紹介・避難所支援報告等）
        - ブース来場者：約 80 名
    - ②学生を対象とした活動
      - ・学校へ講話を実施した会員のパンフレット配布要請に対して県士会作成パンフレットを配布

③関連職種を対象とした活動

- ・神奈川県介護支援専門員研究大会ブース出展  
内容：訪問リハビリテーションや地域リハビリテーション資源の相談など
- ・地域リハビリテーションフォーラムへの作業療法紹介ブース出展  
内容：災害支援時活動報告や地域リハビリテーション資源の相談

④広報促進活動

- ・作業療法紹介につながる配布グッズの検討・県士会の名入れ物品の作製  
(片手で靴紐を結ぶ自助具など)

## 福利部

部長 玖島弘規

1. 新入会員オリエンテーションおよび歓迎会の開催

日時：2018年6月17日(日) 12:15~13:45(学術部研修会後)

会場：IMS 横浜国際看護専門学校

参加者：45名

県士会の紹介と会員の交流をテーマに開催。県士会紹介パンフレットの配布と神奈川県臨床作業療法大会の広報などを実施。

2. 求人・求職の登録および情報提供

(1) 県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載依頼受付

新規掲載依頼延べ総件数：152件

(2) 求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等の問い合わせへの情報提供  
相談業務の実施

(3) 各種問い合わせへの対応

3. 各種表彰活動

(1) 神奈川県内における日本作業療法士協会特別表彰に該当する会員の検索  
推薦の実施

1) 日本作業療法士協会 2017年度 特別表彰受賞

杉本 由美子氏 (NPO 法人重度身体障害者と共に歩む会)

2) 日本作業療法士協会 2018年度 特別表彰受賞

該当なし

(2) その他行政、関連団体の表彰

1) 神奈川県保健事務所長・知事賞

該当者なし

2) 第5回昭和上條医療賞

該当者なし

3) 神奈川県エイズ対策推進協議会 平成30年度「かながわレッドリボン賞」

該当者なし

(3) 神奈川県作業療法士会 特別表彰及び功労表彰

1) 神奈川県作業療法士会 特別表彰、功労表彰者の推薦及び表彰

【特別表彰】

- ・田中 節子氏
- ・土岐 玲子氏
- ・鶴見 隆彦氏

【功労表彰】

- ・三宅 久子氏
- ・菅井 京子氏
- ・中村 光枝氏
- ・畠中 佳代子氏
- ・原沢 祐子氏

4. 倫理問題についての対応業務

日本作業療法士協会倫理要綱の遵守と職業倫理の徹底と日本作業療法士協会との連携強化

平成 30 年度の倫理相談窓口への相談 0 件

## 地域リハビリテーション部

部長 遠藤陵晃

1. 研修担当

研修会名	講師	開催日	会場	参加数
多職種精神保健福祉セミナー (第8回OT・PSW合同研修会)	馬場順子氏 高光祐子氏 有川雅俊氏	11/11	横浜	29名 (PSW含)
地域リハビリテーション人材育成研修会 介護予防編	渋江拓郎氏 金子康氏 村松みゆき氏 佐藤隼氏 須崎隆光氏 山岡洸氏 金山桂氏	10/28	ウィリング横浜	27名
地域リハビリテーション人材育成研修会 地域ケア会議編	遠藤陵晃氏 田中ゆかり氏 大坂慎介氏 渋江拓郎氏 吉田倫子氏 入口晴香氏	11/25	横浜 YMCA 学院専門学校	30名
				86名

以下の研修会等を開催

※訪問リハ関連の研修会は平成26年度より神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の事業に移行

※MTDLP、認知症の事業に関して平成27年度より各特設委員会へ事業移行

## 2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及のため下記事業を実施。

- (1) 難病（ALS）支援スキルの普及  
1回の講習会を実施
- (2) 特別支援教育等における作業療法士の普及  
1回の講習会を実施
- (3) 訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）  
ウェブサイト内コンテンツ「地域の“輪・和・わ”」に掲載中
- (4) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (5) 県の委託事業である神奈川県介護予防従事者研修会の協賛  
県士会から講師派遣、スタッフ派遣
- (6) 県の委託事業であるリハビリテーション等介護予防指導研修会の協力

## 3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する

- (1) 障がい者団体の活動調査  
各団体の発行・発刊物にて活動を把握
- (2) 地域支援事業の情報収集およびその対応  
県内市区町村の情報収集

## 制度対策部

部長 野本義則

### 1. 社会保障制度対策事業

- (1) ブログによる保険情報の伝達
  - 1) ブログによる日本作業療法士協会保険部の情報を平均月2回発信
  - 2) 神奈川県医療職連合会セミナー参加と情報配信  
2018年10月24日「医療と介護のクロスロード 同時改定とチーム医療」  
講師 武藤正樹 国際医療福祉大科学大学院教授
  - 3) 他職種への作業療法士に対する意見聴取と情報配信  
2019年3月23日 児童養護施設園長 和田 直熙先生
- (2) 社会保障制度に関する情報収集と発信
  - 1) 運転と作業療法に関する取り組み
    - ①運転と作業療法ネットワーク参加  
2018年7月6日 神奈川リハビリテーションセンター  
2018年10月9日 神奈川運転免許試験場

2018年12月11日 さがみリハビリテーション病院

②自動車運転への臨床上の取り組みについて質問への対応（1件）

2) 特別支援教育と作業療法に関する取り組み

次年度へ向けての活動内容検討

(3) 班会議開催 2回

2. 福祉用具対策事業

(1) 福祉用具に関する情報収集・提供

「福祉用具相談支援システム」の開始 アドバイザー5名設置 相談数2件

(2) 福祉用具に関する研修会の開催 (※会場は全てウィリング横浜)

研修名	講師	開催日	参加数
第1回明日から使える環境調整スキル トイレ・浴室 住宅改修 環境調整と連携	OT 糸田哲人 氏 PT 田治秀彦 氏 建築士 浅井悦男 氏	6/1(日)	OT10名
第2回明日から使える環境調整スキル 座クッション シーティング	PT 森田 智之氏 エンジニア児玉真一 氏	7/28 (土)	OT8名
第3回明日から使える環境調整スキル 車いすの移動 屋外アプローチ	PT 平田 学氏 PT 藤井 智 氏	9/2(日)	OT5名
第4回明日から使える環境調整スキル ポジショニング マットレス 移乗	PT 池谷 充弘 氏 PT 数野 理恵 氏	11/4 (日)	OT7名
第5回明日から使える環境調整スキル 重度障害者の環境調整	OT 濱口 陽介 氏 ST 猪川 尚子 氏	12/1 (土)	OT14名

(3) 他職能団体よりの講師派遣等に関すること

1) 国際福祉機器展協力

福祉用具相談コーナーに部員6名を派遣をした。

2) 事業協力

日本作業療法士協会制度対策部福祉用具対策委員会 生活行為工夫情報モデル事業

(4) 班会議開催 年2回

3. 災害対策事業

(1) 災害対策に関する情報の収集

(2) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT) との連携

(3) 協会および県内他団体との災害対策の連携

8/26「ビッグレスキューかながわ」にブースを出展 (広報部対外広報班と協業)

(4) 会員安否確認および被災状況確認のシステム整備

WEBによる県士会員安否確認システムのデモ運用 120名参加

4. 部会の開催

制度対策部班長会議 年2回

## 常設委員会

## 規約委員会

委員長 名古屋和茂

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討  
引き続き、定款及び諸規則・規程の一部改訂及び管理を行った
2. 公益社団法人取得に向けての準備  
本会の公益社団法人規約などについて情報収集をした  
公益法人化対策委員会と合同会議を年2回開催した
3. 他都道府県士会における法人設立・変更登記の支援  
今年度は支援の実績はなかった

## ウェブサイト管理委員会

委員長 作田浩行

1. 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※2019年2月末現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュー数	1日あたりの プレビュー数	カウンター
2018/04	63	46	11	6	79996	2666.533	4540
05	75	53	14	8	91030	2936.452	4719
06	42	28	7	7	88149	2938.300	4094
07	54	34	18	2	83479	2692.871	3983
08	75	41	23	11	89741	2894.871	3899
09	44	32	7	5	95753	3191.767	3986
10	76	46	26	4	91567	2953.774	4824
11	55	35	16	4	67050	2235.000	4661
12	43	29	11	3	64478	2079.935	4000
2019/01	80	40	31	9	69597	2245.065	4230
02	49	29	17	3	59604	2128.714	4192
03							
合計	656	413	181	62	880444	2636.1	47128
前年との比較	-121	-91	-63	-30	-231190	-682.3	-5495

2. 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信

登録者数：208名、発行数：74件 ※2019年2月末現在

3. Twitter・Facebook

Twitter フォロワー：319名、Facebook いいね！：254名 ※2019年2月末現在

4. 県士会サイトの広報

県士会ニュースに、県士会会員への県士会サイト周知を目的に記事を掲載した。

5. 県学会および県大会の IT 支援

第3回神奈川県臨床作業療法大会の開催へ向けて IT 支援を実施した。

6. レスポンシブウェブデザインの導入

スマートフォン／タブレットでの閲覧にも適したウェブデザインに変更した。

7. 県士会サイト：常時 SSL 化

常時 SSL 接続を導入し、セキュリティの強化を行った。

## 学会評議委員会

委員長 野々垣睦美

1. 第3回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会への支援および遂行状況の確認  
平成30年7月29日開催 大会長：三浦 美紀 会場：はまぎんホールウイアマーレ  
○参加人数  
午前：シンポジウム 283名  
午後：口述発表 175名（県内 OTR 134名，県外 OTR 9名，学生32名）
2. 第17回神奈川県作業療法学会の学会長推薦および学会実行委員会遂行状況確認  
2019年7月21日開催 大会長：野々垣 睦美 会場：メルパルク横浜
3. 学会および大会運営マニュアルの作成
4. 第17回学会予算案の再検討
5. 学会および臨床大会のあり方についての検討
6. 委員会開催4回  
平成30年10月2日、平成30年11月20日、平成31年1月22日、  
平成31年2月18日

## 特設委員会

## 公益法人化対策委員会

委員長 澤口勇

1. 部会の開催  
(1) 部署内の会議：適宜開催（関連部署との連携調査会議時に実施）  
(2) その他必要となる部署及び関連機関（事務局、顧問会計士、規約委員会等）と

の連携調整会議：年4回（7/31、8/30、10/9、※注釈：あと1回）

2. 公益法人化に向けたロードマップの検討
  - ・理事会に提案し、検討を行った。収支の安定が優先課題となったが、下記にも触れるが、「何故、公益化なのか」をしっかりと学ぶ必要性を感じた。
3. 公益法人化準備事業（組織の再編を検討・会員への周知）
  - ・組織の再編に関しては先送りとなり、まずは現行体制で、各部にて公益事業の立案を委ねることとなった。また「当会における考えらえる公益事業の一案」の提示を行った。
  - ・会員への周知は次年度の課題となった。
4. 公益法人格対応の定款および規約等の作成
  - ・当会の事業理念をもう一度再認識してから、定款および規約等の再編が必要と改めて確認された。
5. 公益法人化に関する情報収集・・・適宜実施
6. 県内の公益事業に関する情報収集・・・適宜実施

## 生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 木村修介

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進をする。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催

研修会名	開催日	場所	参加数
旧基礎研修会	11/24, 2/2	横浜リハビリテーション専門学校	
事例検討			

2. 生活行為向上マネジメントを活用している事業所の把握  
⇒事例検討会等を通じて、活用している病院・施設の情報を収集した
3. 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の募集  
⇒事例検討会を通じて協力の検討を促した
4. 広報誌に生活行為向上マネジメントに関する記事を掲載  
⇒適宜、記事を掲載した

## 認知症事業対策委員会

委員長 佐藤良枝

1. 県士会会員向けの研修会開催  
「認知症アップデート研修会」

日時：2018年7月1日（日）10:00～16:35

会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加者：55名

## 2. 県士会会員への情報提供

県士会サイト「オレンジ☆マルシェ ひとりひとりがサポーター」

## 3. 関連団体との協力

### (1) 「認知症をにんちしよう会」シンポジウム

日時：2018年5月20日（日）10:00～16:00

会場：小田原川東タウンセンターマロニエ

対象：一般市民

シンポジストとして1名参加・スタッフとして1名参加

### (2) 「認知症をにんちしよう会」イベント参加

日時：2018年9月9日（日）10:00～16:00

会場：小田原駅地下街 HaRuNe 小田原

対象：一般市民

ステージ参加：コグニサイズ（スタッフ3名）

ブース参加：トレイルメイキングテスト実施およびパンフレット配布  
約80名に実施（スタッフ5名）

### (3) 「認知症をにんちしよう会」会議

2018年5月7日 理事1名出席

2018年6月25日 部員1名出席

2018年8月9日 部員1名出席

2018年11月19日 部員1名出席

2019年1月29日 部員1名出席

### (4) 認知症の人と家族の会神奈川県支部との連携

1) つどい参加のために委員全員がボランティア保険に加入

2) 年度始めと年度末に1回ずつ、世話人と意見交換を実施

3) 当事者対応を協力して実施し、サポーター・世話人・家族へ指導・助言

4) 記録の整備と保管への対応およびリスクマネジメントを開始

2018年9月9日：若年性認知症の人の集い 10:00～16:00

2018年11月11日：若年性認知症の人の集い 10:00～16:00

2019年1月13日：若年性認知症の人の集い 10:00～16:00

2019年3月10日：若年性認知症の人の集い 10:00～16:00

### 5) ミニ講座への講師派遣

・「口腔ケアについて」

2018年10月13日（土）横浜市健康福祉総合センター

・「口の健康を保つには」

2019年1月26日（土）神奈川県民サポートセンター

## 4. 部内会議

### (1) 年に10回開催

2018年 4月 11日（水） 19:00～21:00  
2018年 5月 9日（水） 19:00～21:00  
2018年 6月 13日（水） 19:00～21:00  
2018年 7月 18日（水） 19:00～21:00  
2018年 8月 8日（水） 19:00～21:00  
2018年 9月 19日（水） 19:00～21:00  
2018年 9月 26日（水） 19:00 ウェブ会議テスト  
2018年 11月 21日（水） 19:00～21:00  
2018年 12月 12日（水） 19:00～21:00  
2019年 1月 9日（水） 19:00～21:00 ウェブ会議  
2019年 2月 13日（水） 19:00～21:00  
2019年 3月 13日（水） 19:00～21:00

(2) メール会議

2018年4月～2019年2月末日までにメーリングリストにて 528 本実施。

(3) ウェブ会議

無料のアプリケーションソフトを利用した全員参加のウェブ会議を導入。  
来年度のより効果的な活用方法について検討した。

5. その他

日本作業療法士協会平成 30 年度認知症作業療法推進委員会会議参加

日程：平成 2018 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）

参加者：理事・部員 2 名

## 地域包括ケアシステム推進委員会

委員長 大郷和成

高齢社会を迎え、誰しものが住み慣れた地域で生き生きと生活出来るように各自治体の現状に応じて地域づくりを進める動きが検討および実施され始めた

2018 年度においては一般介護予防事業のひとつである地域リハビリテーション活動支援事業の拡大と会員の地域支援活動への参加促進を行った。また、地域団体からの依頼による地域事業への協力も行った。

1. 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への参画

作業療法士の派遣依頼回数は 18 区で 62 件（OT13 名が参画）

派遣内容（地域住民へのグループ支援、地域ケア会議参加、ケアマネジメント支援、人材育成事業）

2. 会員の地域支援活動を支援するアセスメントシートの作成

保健師への聞き取りシートを作成し事業内で運用中

3. 地域包括ケアシステムに関する人材育成研修の実施

(1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業セミナー

場所：横浜 YMCA 学院専門学校

- 日時：2018年8月22日（水）、8月29日（水）19:30～20:30  
参加数：8月22日8名、8月29日13名
- (2) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業研修会（横浜市主催）  
場所：横浜市社会福祉センター  
日時：2018年12月13日（木）18:30～20:30  
参加数：100名（うち会員16名）
- (3) 地域包括ケアシンポジウム  
場所：神奈川県立地球市民かながわプラザ  
日時：2019年1月13日（日）14:00～17:00  
参加数：53名（会員19名、県外OT4名、PT20名、その他10名）
4. 神奈川県内市町村での介護予防事業への参画
- (1) 藤沢市辻堂地区の公民館の依頼により、全2回の介護予防講座を実施
- (2) 茅ヶ崎市短期集中通所型サービスにて作業療法士を派遣（計28回、9名派遣）
- (3) 横浜市介護予防人材の育成講座にて講師
5. 神奈川県内市町村の地域支援事業の情報収集の実施
- (1) 神奈川県協働事業への協力（麻生スマイルフェスティバルにてブース出展）
6. 県士会他部署との連携、情報交換の実施
- (1) 地域リハ部主催の研修会への協力

# 報告事項（２）2018年（平成30年）度決算報告ならびに監査報告

平成31年4月25日

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 平成30年度決算報告

### 収入の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	備考
<b>会費収入</b>	<b>16,094,000</b>	<b>0</b>	<b>16,094,000</b>	<b>16,151,000</b>	
正会員会費収入	16,034,000			16,081,000	入会金含む
賛助会員会費収入	60,000			70,000	
<b>研修会費収入</b>	<b>2,885,500</b>	<b>0</b>	<b>2,885,500</b>	<b>3,031,500</b>	
制度対策部	90,000			104,000	
現職者共通研修(教育部)	700,000			1,054,000	
現職者選択研修(教育部)	300,000			100,000	
事例報告登録制度研修	5,000			3,000	
スキルアップ研修(学術部)	1,020,000			1,100,000	
地域リハビリテーション部	80,500			104,000	
地域包括ケアシステム	80,000			85,000	
生活行為向上マネジメント	490,000			319,500	
認知症対策	120,000			162,000	
<b>助成金収入</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>150,000</b>	<b>150,000</b>	
生涯教育講座(地域リハ)	150,000			150,000	
<b>広告収入</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	<b>83,892</b>	
<b>雑収入</b>	<b>18,000</b>	<b>0</b>	<b>18,000</b>	<b>87,323</b>	
<b>利息</b>				<b>283</b>	
<b>運営費取り崩し</b>	<b>4,275,700</b>	<b>0</b>	<b>4,275,700</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計</b>	<b>23,523,200</b>	<b>0</b>	<b>23,523,200</b>	<b>19,503,998</b>	

### 支出の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	増減・残
<b>事務局</b>	<b>8,185,000</b>	<b>0</b>	<b>8,185,000</b>	<b>7,887,670</b>	<b>297,330</b>
給与手当	3,500,000		3,500,000	3,014,360	485,640
福利厚生費	40,000		40,000	31,601	8,399
会議費	340,000		340,000	248,313	91,687
旅費交通費	980,000		980,000	695,822	284,178
消耗品費	90,000		90,000	172,204	▲ 82,204
印刷製本費	150,000		150,000	201,958	▲ 51,958
修繕費	15,000		15,000	33,437	▲ 18,437
賃借料	1,500,000		1,500,000	1,477,440	22,560
光熱水費	200,000		200,000	186,470	13,530
広告宣伝費	40,000		40,000	38,880	1,120
渉外費	100,000		100,000	80,800	19,200
通信運搬費	500,000		500,000	447,500	52,500
委託費	500,000		500,000	577,496	▲ 77,496
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	100,000		100,000	486,000	▲ 386,000
備品費	0		0	0	0
その他活動費	100,000		100,000	100,830	▲ 830
支払い手数料	5,000		5,000	3,348	1,652
雑費	15,000		15,000	69,161	▲ 54,161
保険料	0		0	21,250	▲ 21,250
租税公課	10,000		10,000	800	9,200

<b>財務部</b>	<b>25,000</b>	<b>0</b>	<b>25,000</b>	<b>17,004</b>	<b>7,996</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	4,800		4,800	0	4,800
旅費交通費	10,000		23,000	0	23,000
消耗品費	0		0	15,984	▲ 15,984
印刷製本費	3,000		3,000	0	3,000
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	4,000		5,000	1,020	3,980
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	3,200		3,200	0	3,200
支払い手数料	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0
<b>学術部</b>	<b>1,360,000</b>	<b>0</b>	<b>1,360,000</b>	<b>1,266,824</b>	<b>93,176</b>
福利厚生費	50,000		50,000	46,875	3,125
会議費	82,000		82,000	71,461	10,539
旅費交通費	113,000		113,000	189,948	▲ 76,948
消耗品費	16,000		16,000	55,898	▲ 39,898
印刷製本費	531,000		531,000	552,381	▲ 21,381
賃借料	160,000		160,000	16,830	143,170
渉外費	5,000		5,000	0	5,000
通信運搬費	122,000		122,000	10,607	111,393
委託費	0		0	14,719	▲ 14,719
諸謝金	276,000		276,000	301,625	▲ 25,625
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	6,480	▲ 6,480
雑費	5,000		5,000	0	5,000
<b>教育部</b>	<b>674,200</b>	<b>0</b>	<b>674,200</b>	<b>653,253</b>	<b>20,947</b>
福利厚生費	27,200		27,200	0	27,200
会議費	15,000		15,000	23,200	▲ 8,200
旅費交通費	85,000		85,000	71,472	13,528
消耗品費	10,000		10,000	30,645	▲ 20,645
印刷製本費	50,000		50,000	17,700	32,300
賃借料	174,000		174,000	153,250	20,750
渉外費	3,000		3,000	0	3,000
通信運搬費	37,000		37,000	58,422	▲ 21,422
委託費	0		0	36,690	▲ 36,690
諸謝金	270,000		270,000	260,000	10,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	3,000		3,000	1,874	1,126
雑費	0		0	0	0
<b>広報部</b>	<b>3,293,500</b>	<b>0</b>	<b>3,293,500</b>	<b>3,083,370</b>	<b>210,130</b>
福利厚生費	70,000		70,000	8,040	61,960
会議費	112,000		112,000	7,200	104,800
旅費交通費	131,000		131,000	35,160	95,840
消耗品費	242,500		242,500	877	241,623
印刷製本費	1,180,000		1,180,000	1,223,370	▲ 43,370
賃借料	130,000		130,000	159,240	▲ 29,240
渉外費	3,000		3,000	0	3,000
通信運搬費	1,420,000		1,420,000	1,645,001	▲ 225,001
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	5,000		5,000	4,482	518
雑費	0		0	0	0

<b>福利部</b>	<b>400,000</b>	<b>0</b>	<b>400,000</b>	<b>146,720</b>	<b>253,280</b>
福利厚生費	122,000		122,000	55,587	66,413
会議費	23,500		23,500	0	23,500
旅費交通費	60,000		60,000	11,300	48,700
消耗品費	86,500		86,500	3,078	83,422
印刷製本費	77,400		77,400	54,787	22,613
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	30,000		30,000	13,592	16,408
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	6,000	▲ 6,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	2,376	▲ 2,376
雑費	600		600	0	600
<b>地域リハビリテーション部</b>	<b>725,000</b>	<b>0</b>	<b>725,000</b>	<b>508,441</b>	<b>216,559</b>
福利厚生費	28,000		28,000	35,322	▲ 7,322
会議費	79,400		79,400	37,616	41,784
旅費交通費	160,000		160,000	129,990	30,010
消耗品費	12,000		12,000	5,844	6,156
印刷製本費	99,000		99,000	57,245	41,755
賃借料	146,800		146,800	78,072	68,728
渉外費	0		0	1,080	▲ 1,080
通信運搬費	28,600		28,600	10,685	17,915
委託費	0		0	0	0
諸謝金	170,000		170,000	150,405	19,595
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	1,200		1,200	2,182	▲ 982
雑費	0		0	0	0
<b>制度対策部</b>	<b>330,000</b>	<b>0</b>	<b>330,000</b>	<b>266,398</b>	<b>63,602</b>
福利厚生費	24,000		24,000	16,146	7,854
会議費	54,000		54,000	11,908	42,092
旅費交通費	77,000		77,000	52,260	24,740
消耗品費	5,000		5,000	1,564	3,436
印刷製本費	24,500		24,500	18,332	6,168
賃借料	70,000		70,000	78,430	▲ 8,430
渉外費	0		0	12,016	▲ 12,016
通信運搬費	8,000		8,000	9,069	▲ 1,069
委託費	5,000		5,000	0	5,000
諸謝金	58,000		58,000	63,250	▲ 5,250
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	2,500		2,500	0	2,500
支払い手数料	500		500	3,170	▲ 2,670
雑費	1,500		1,500	253	1,247
<b>規約委員会</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	3,000		3,000	0	3,000
旅費交通費	4,000		4,000	0	4,000
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	3,000		3,000	0	3,000
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0

<b>ウェブサイト管理委員会</b>	<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	<b>23,761</b>	<b>16,239</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	11,800		11,800	8,000	3,800
旅費交通費	20,000		20,000	9,586	10,414
消耗品費	7,000		7,000	5,155	1,845
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	1,200		1,200	1,020	180
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0
<b>学会評議委員会</b>	<b>146,500</b>	<b>0</b>	<b>146,500</b>	<b>36,990</b>	<b>109,510</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	30,000		30,000	14,748	15,252
旅費交通費	60,000		60,000	22,242	37,758
消耗品費	5,000		5,000	0	5,000
印刷製本費	1,000		1,000	0	1,000
賃借料	0		0	0	0
渉外費	10,000		10,000	0	10,000
通信運搬費	40,000		40,000	0	40,000
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	0	0
雑費	500		500	0	500
<b>選挙管理委員会</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>150,000</b>	<b>30,878</b>	<b>119,122</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	20,000		20,000	8,000	12,000
旅費交通費	48,000		48,000	2,650	45,350
消耗品費	1,500		1,500	0	1,500
印刷製本費	20,000		20,000	20,120	▲ 120
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	60,000		60,000	0	60,000
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	108	▲ 108
雑費	500		500	0	500
<b>公益法人化対策委員会</b>	<b>44,000</b>	<b>0</b>	<b>44,000</b>	<b>27,018</b>	<b>16,982</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	8,000		8,000	11,868	▲ 3,868
旅費交通費	14,000		14,000	14,640	▲ 640
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	2,000		2,000	510	1,490
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	0		0	0	0
雑費	20,000		20,000	0	20,000

<b>生活行為向上マネジメント推進委員会</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	<b>300,000</b>	<b>186,741</b>	<b>113,259</b>
福利厚生費	13,600		13,600	1,697	11,903
会議費	12,800		12,800	0	12,800
旅費交通費	31,500		31,500	4,340	27,160
消耗品費	1,000		1,000	194	806
印刷製本費	45,000		45,000	19,640	25,360
賃借料	100,000		100,000	76,788	23,212
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	3,000		3,000	1,530	1,470
委託費	0		0	0	0
諸謝金	90,000		90,000	80,500	9,500
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	2,500		2,500	0	2,500
支払い手数料	0		0	2,052	▲ 2,052
雑費	600		600	0	600
<b>認知症対策委員会</b>	<b>390,000</b>	<b>0</b>	<b>390,000</b>	<b>357,793</b>	<b>32,207</b>
福利厚生費	20,000		20,000	12,905	7,095
会議費	55,000		55,000	67,853	▲ 12,853
旅費交通費	85,000		85,000	96,340	▲ 11,340
消耗品費	20,000		20,000	29,814	▲ 9,814
印刷製本費	64,000		64,000	47,058	16,942
賃借料	60,000		60,000	46,172	13,828
保険料	0		0	6,390	▲ 6,390
渉外費	3,000		3,000	2,700	300
通信運搬費	10,000		10,000	7,853	2,147
委託費	0		0	0	0
諸謝金	65,000		65,000	34,250	30,750
負担金	5,000		5,000	5,000	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払い手数料	2,000		2,000	1,458	542
雑費	1,000		1,000	0	1,000
<b>地域包括ケアシステム推進委員会</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	<b>170,838</b>	<b>29,162</b>
福利厚生費	0	0	0	206	▲ 206
会議費	50,000	0	50,000	14,598	35,402
旅費交通費	70,000	0	70,000	35,830	34,170
消耗品費	10,000	0	10,000	5,659	4,341
印刷製本費	0	0	0	6,245	▲ 6,245
賃借料	10,000	0	10,000	13,670	▲ 3,670
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	3,212	▲ 3,212
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	40,000	0	40,000	89,500	▲ 49,500
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	17,000	0	17,000	0	17,000
備品費	0	0	0	0	0
支払い手数料	2,000	0	2,000	918	1,082
雑費	1,000	0	1,000	1,000	0
<b>負担金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>455,900</b>	<b>▲ 455,900</b>
神奈川県医療専門職連合会				244,400	▲ 244,400
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会				211,500	▲ 211,500
<b>助成金</b>	<b>400,000</b>	<b>0</b>	<b>400,000</b>	<b>498,200</b>	<b>▲ 98,200</b>
研究助成	400,000	0	400,000	498,200	▲ 98,200
<b>積立金取崩</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>9,027</b>	<b>▲ 9,027</b>
学生対応積立金取崩				9,027	▲ 9,027
<b>活動費合計</b>	<b>16,673,200</b>	<b>0</b>	<b>16,673,200</b>	<b>15,626,826</b>	<b>1,046,374</b>
<b>積立金</b>	<b>5,850,000</b>	<b>0</b>	<b>5,850,000</b>	<b>2,100,000</b>	<b>3,750,000</b>
県学会(第18回)	1,500,000	0	1,500,000	2,100,000	▲ 600,000
事務局積立	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
学会会場積立	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000
非常時対応	200,000	0	200,000	0	200,000
学生対応積立	150,000	0	150,000	0	150,000
<b>予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>
<b>次期繰越金</b>				<b>1,777,172</b>	
<b>支出合計</b>	<b>23,523,200</b>	<b>0</b>	<b>23,523,200</b>	<b>19,503,998</b>	

## 財 産 目 録

平成31年3月31日現在(決算)

		勘 定 科 目	繰 越 残 高
資 産 の 部	流 動 資 産	小 口 現 金	0
		(現 金)	0
		普 通 預 金	12,664,878
		ゆうちょ銀行	651,004
		三菱UFJ銀行	297,334
		横浜銀行 一般社団法人用	8,041,954
		横浜銀行 財務部	7,996
		横浜銀行 教育部	20,947
		横浜銀行 学術部 分野別	23,782
		横浜銀行 学術部 学術誌	19,400
		横浜銀行 学術部 研究助成班	50,000
		横浜銀行 広報部	61,518
		横浜銀行 広報部 ニュース班	35,806
		横浜銀行 広報部 対外広報班	133,925
		横浜銀行 福利部	253,282
		横浜銀行 地域リハビリテーション部	216,561
		横浜銀行 規約委員会	10,000
		横浜銀行 制度対策部	10,833
		横浜銀行 制度対策部福祉用具会議班	4,530
		横浜銀行 災害対策班	35,973
		横浜銀行 制度対策部社会保障制度対策委員会	12,266
		横浜銀行 ウェブサイト管理委員会	16,239
		横浜銀行 学会評議委員会	109,510
		横浜銀行 公益法人化対策委員会	16,982
		横浜銀行 生活行為向上マネジメント推進委員会	113,259
		横浜銀行 認知症対策委員会	32,207
		横浜銀行 地域包括ケアシステム	29,163
		横浜銀行 選挙管理委員会	119,122
		横浜銀行 行事費	1,041,092
		横浜銀行 事務局積立	1,300,193
横浜銀行 県学会	0		
	(流 動 性 預 金)	12,664,878	
	定期預金	1,635,000	
	ゆうちょ銀行	1,635,000	
	定額貯金	2,000,000	
	ゆうちょ銀行	2,000,000	
	(固 定 制 預 金)	3,635,000	
	(預 金)	16,299,878	
	[現 金 預 金]	16,299,878	
	[その他流動資産]	0	
	<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>16,299,878</b>	
	<b>【 資 産 の 部 】</b>	<b>16,299,878</b>	

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	16,299,878	預り金	8,926
		負債合計	8,926
		純資産の部	
		【株主資本】	
		資本金	1,635,000
		(利益剰余金)	
		学生対応積立金	140,973
		繰越利益剰余金	14,514,979
		純資産合計	16,290,952
資産合計	16,299,878	負債・純資産合計	16,299,878

## 損益計算書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

(単位 円)

科目	金額	
【売上高】		
会費収入	16,151,000	
研修会会費収入	3,031,500	
雑収入	87,323	
広告掲載料	83,892	
補助金	150,000	19,503,715
売上総利益金額		19,503,715
【販売費および一般管理費】		17,726,826
営業利益金額		1,776,889
【営業外収益】		
受取利息		283
経常利益金額		1,777,172
税引前当期純利益金額		1,777,172
当期純利益金額		1,777,172

## 神奈川県作業療法士会 期末監査報告

平成31年4月13日  
榎澤直美  田中ゆか 

私たちは、平成31年4月13日に一般社団法人神奈川県作業療法士会の監査を行いました。監査にあたっては、各部委員会の活動報告、収支、領収書を確認しました。

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていると認めます。しかし、下記の点に関して改善を検討することをお願いします。

### 記

- ・半期を超えての会計処理を行っている部署があります。半期ごとに振り返りを行い、適正に事業運営していただきたいと思います。
- ・各部委員会の長は事業遂行および会計に関して管理責任を持つとともに、今後も適正な運営に努めていただきたいと思います。

## 決議事項

### 第 5 号議案 特設委員会の設立について

2018 年度事務局内のワーキンググループとして活動してきたエリア化推進検討会であるが、より活動内容が会員に伝わりやすく、共に参加いただけるよう委員会としたい。

### 第 1 号議案 2019 年度（令和元年度）事業計画（案）

#### 事務局

##### 1. 総会運営

###### (1) 第 6 回社員総会

日時：2019 年 5 月 19 日（土）9：45～

会場：かながわ労働プラザ

##### 2. 三役会・理事会運営

###### (1) 三役会 年間 8 回開催予定

###### (2) 理事会 年間 7 回開催予定

県士会部員の承認及び後援依頼、その他急な審議が必要な案件は、理事メンバーリスト等において審議を行なう。

##### 3. 会員情報の管理

###### (1) 会員名簿を安全かつ正確な会員管理を行うためにより安全な I T 化の推進を検討

##### 4. 会員からの問い合わせに対する業務

##### 5. 関連団体等に対する業務

##### 6. 文書の管理と発行および資料の管理

##### 7. 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築

###### (1) 事務局の会議及び部・委員会との連携会議を年 8 回程度開催予定

##### 8. 会員の確保に関することの検討

##### 9. 事務局機能の強化

##### 10. その他各部に属しないことに関すること

#### 部

#### 財務部

##### 1. 収入及び支出の管理

###### (1) 決算書作成

- (2) 予算案編成
  - (3) 監査実施
  - (4) 各部門会計処理方法を毎月確認
  - (5) 会計説明会開催
  - (6) 円滑な会費納入支援
2. 財務管理体制に関する検討
    - ・財務管理システム変更の検討(ツール変更、公認会計士の導入など)
    - ・財務状況の把握と調査
    - ・財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など)
  3. 三役、監事、関係部署との連携(会議への出席、相談等)
  4. 部内会議(適宜実施)
  5. その他財務に関すること

## 学術部

県士会員に対する基礎教育以後の学術活動支援を目的とし、臨床実践能力の育成を目指す。また、会員間の知識・技術の共有を促進し、「ともに学び、助け合う」ことを援助する。事業内容は、研修会の企画・運営、学術誌編集・発行、研究助成事業運営の3事業を展開する。

### 1. 研修会事業(スキルアップ研修事業)

身体障害系企画3回、精神障害系企画2回、老年期障害系1回、臨床実習指導者研修1回、トピクス研修1回の計8回の研修会を企画・開催する予定

また、開催時期、開催場所について、年度を通じて時期、会場ともバランスよく開催する。

### 2. 学術誌刊行事業

県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を内外へ広報すること目的とする。

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2020 Vol.10』の編集・発行を行なう予定。

### 3. 研究助成事業

会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし2課題を推薦予定。研究代表者および研究組織は、以下の2種類の研究課題とする。(研究Ⅰ):研究代表者は全神奈川県士会員で、研究組織は2法人以上(研究分担者は神奈川県士会員を1名含む)。(研究Ⅱ):研究代表者は免許取得7年目以下で、研究組織は1法人以上。

承認者は関連学会への応募や神奈川作業療法研究の学術誌への投稿にて成果を公表する予定。

## 教育部

1. 研修会開催 \*OT 協会生涯教育制度基礎研修（必修研修）
  - (1) 現職者共通研修：全 10 テーマ開催
  - (2) 現職者選択研修：2 領域以上の開催
2. 日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携
3. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催  
日本作業療法士協会と連携しながらの県士会主催研修会の開催
4. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進  
県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じたわかりやすい広報
5. SIG の登録管理
  - (1) SIG の登録と管理
6. 生涯教育制度に関する手続き  
ポイント手続きなどの制度関連手続きの広報と手続きの実施
7. 生涯教育制度システム変更による研修会バーコード受付及び関連手続き
8. 臨床実習指導者講習会開催
9. その他生涯教育制度関連事項  
県士会ウェブサイトやメールでの質問への迅速な対応

## 広報部

1. 部会の開催 年 2 回
2. 日本作業療法士協会事業との連携
3. 医療専門職連合会広報部との連携
4. 班活動(県士会ニュース／県民への対外広報)
  - (1) ニュース編集班
    - 1) 運営  
編集長（班長）1 名 班員 5 名 （新規部員を募集する）
    - 2) ニュースの発行
      - ①発行回数 年 6 回
      - ②発行月 奇数月末に翌月名で発行
      - ③印刷部数 約 2350 部
      - ④発行部数 会員（賛助会員含む）+関連団体 約 2350 部
      - ⑤規格 A4 縦 8～12 頁 表紙・裏表紙 カラー
    - 3) ニュース紙面のレイアウト・印刷・発送作業の委託  
高陽印刷所への委託レイアウト・印刷・発注作業が順調。引き続き依頼する。
    - 4) ウェブサイト委員会との連携  
引き続き、バックナンバーのアップロード  
研修会情報や掲載作品募集などで情報発信源部署として連携してゆく。
    - 5) 会議開催

- ①ニュース編集会議年 1 回、レイアウトうち合わせ（高陽印刷所にて）年 6 回
- ②広報部検討会議 2 回（上半期 1 回、下半期 1 回）
- (2) 対外広報班（作業療法啓発活動）
  - 1) 運営：班長 1 名 ブロック長 3 名 会計 2 名 班員 1 4 名
  - 2) 対外広報活動：一般県民・学生・関連職種に対しそれぞれ活動継続
    - ①一般県民を対象とした活動
      - ・横浜：ヨコハマヒューマンテクノランドへの作業活動体験ブース出展
      - ・横浜：神奈川新聞主催「介護フェア」ブース出展
      - ・横浜：中区民祭「ハローよこはま」での認知機能検査体験ブース出展
      - ・相模原：市民祭「さくらまつり」での自助具作成体験型ブース出展
      - ・県央：海老名市扇町エリアマネジメントイベント 体験型・相談ブース出展
      - ・県央：JA 神奈川での健康講和・ブース出展
      - ・川崎：「介護いきいきフェア」ブース出展
      - ・県西：「リハビリフェスタ」ブース出展
      - ・その他：リハビリテーション・介護に関する県内イベントへの視察・出展  
ビックレスキューかながわへのブース出展
    - ②学生を対象とした活動
      - ・中・高校生向け職業紹介マガジン「さくらノート」へのホームページ投稿
      - ・学校へ講話を実施した会員のパンフレット配布要請に対して県士会作成パンフレットを配布
      - ・作業療法に興味のある学生に対する施設見学対応
      - ・小・中学校での職業講話（依頼時）
      - ・施設見学対応
    - ③関連職種を対象とした活動
      - ・神奈川県介護支援専門員研究大会への相談ブース出展
      - ・地域リハビリテーションフォーラムへのブース出展
    - ④広報促進活動
      - ・県士会パンフレットの増刷
      - ・小学生や中学生向けの職業紹介マンガ作成
      - ・県士会広報促進グッズの作製
      - ・ウェブサイト管理委員会協力のもと、対外広報ブログの活用

## 福利部

神奈川県作業療法士会会員の入会推進や福利厚生、各種活動の発展に寄与し、研修会交流会、ウェブサイトや県士会ニュース等を活用し、情報の提供・交換・発信や交流の活発化を推進していく。

### 1. 新入会員オリエンテーション&入会歓迎会の開催

- (1) 新入会員オリエンテーションおよび入会歓迎会を、神奈川県作業療法士会の入

会式と位置づけ開催（新入会員を対象に、学術部と共同して企画開催）する。

- (2) 会員間の交流が活発となる場を提供し、神奈川県作業療法士会会員としての所属意識の向上を図る。

## 2. 求人・求職の推進活動

- (1) 県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載受付を行う
- (2) 求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等、問い合わせに対し情報提供相談業務を行う。またウェブサイト管理委員会と共に、求人・求職者が利用しやすいような円滑なシステム作りを行う。

## 3. 各種表彰に基づく活動

- (1) 日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する会員の推薦を、神奈川県作業療法士会の推薦・運用規定に基づき行う。
- (2) 厚生労働省や県、市区町村など、行政機関や団体に基づく表彰の該当者の推薦作業
- (3) 関連団体に基づく表彰の該当者の推薦作業
- (4) 神奈川県作業療法士会の功労表彰の推薦と運用

## 4. 倫理問題についての対応業務

- (1) 日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、日本作業療法士協会と連携して職業倫理の遵守を推進していく。
- (2) 神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務を行う。

## 5. 新入会の推進活動

新入会員への入会済み案内等の作成と配布

## 地域リハビリテーション部

地域リハビリテーション部では、神奈川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に、知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促し、ネットワークの構築に寄与する

地域リハビリテーション部としては、大きく 3 つの役割に分かれ、地域リハビリテーションの人材育成を中心の研修、会員や関係機関との共同連携を行う普及、地域の情報収集をする調査を行い、また会員だけではなく関係諸機関や障がい者など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されることを目指す

### 1. 研修担当

- (1) 「多職種精神保健福祉セミナー（第 9 回 OT・PSW 合同研修会）」企画・開催
- (2) 「地域リハビリテーション人材育成研修会 2019」企画・開催
  - 1) 介護予防研修会
  - 2) 地域包括ケア研修会

※介護予防と地域包括ケア研修会各 2 回実施し、各研修会に参加した方に修了証の配布も検討

## 2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及を目指す

- (1) 難病支援スキルの普及（年 1 回の講習会など）
- (2) 特別支援教育等における作業療法士の普及（年 1 回の講習会など）
- (3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (4) 県の地域・介護予防関連研修会などの協力

## 3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する

- (1) 地域支援事業の活動調査
- (2) 障がい者団体の活動調査
- (3) 地域リハビリテーション人材バンク設立に向けての情報収集  
（地域包括推進委員会と共同）

## 制度対策部

### 1. 社会保障制度対策事業

- (1) 作業療法に関わる社会保障制度(医療保険・介護保険・障害者総合支援法など)の情報収集
- (2) 作業療法に関わる社会保障制度の情報発信
- (3) 日本作業療法士協会の制度対策に関する連携

### 2. 福祉用具対策事業

- (1) 福祉用具に関する会員向け研修会開催（5 回）
- (2) 福祉用具に関する情報提供，相談支援
- (3) 他団体からの要請に対し，福祉用具関連講師の派遣

### 3. 災害対策事業

- (1) 災害対策に関する情報の収集と発信
- (2) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）との連携
- (3) 日本作業療法士協会および県内他団体との災害対策に関わる連携
- (4) 会員被災状況確認のシステムの運用

### 4. 自動車運転と作業療法に関する事業

- (1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集
- (2) 自動車運転と作業療法に関する情報発信
- (3) 自動車運転と作業療法に関する日本作業療法士協会と連携

## 常設委員会

## 規約委員会

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
2. 公益社団法人取得に向けての情報収集および関係機関（事務局、公益法人化対策委員会など）との連携
3. 他都道府県士会における法人設立・変更登記の支援

## ウェブサイト管理委員会

### 1. 基本概念

IT 技術を活用することで、作業療法関連情報・県士会関連情報を確実に発信する  
一般の方：作業療法について知ることができる⇒作業療法を使いたい人、作業療法士になりたい人を増やす、県民の健康の増進に寄与する

県士会員：県士会情報のデータベースとなる⇒いつでも県士会について必要な情報を閲覧できる

### 2. 活動計画

- (1) 県士会サイトの企画・管理・運営
- (2) 県士会電子メール<kaot@kana-ot.jp>の受付
- (3) 県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理
- (4) 新着メールマガジン「kana からの手紙」の発信
- (5) ウェブサイト管理委員会公式 Twitter および Facebook の管理・運営
- (6) 県士会サイトの広報（県士会ニュースでのウェブサイト通信の掲載など）
- (7) 県学会および県大会の IT 支援
- (8) その他

## 学会評議委員会

1. 第 17 回神奈川県作業療法学会実行委員会の遂行状況確認、運営への支援
2. 第 4 回神奈川県臨床作業療法大会実行委員会の遂行状況確認、運営への支援
3. 学会および大会運営マニュアルの作成
4. 学会および臨床大会のあり方についての検討
  - (1) 臨床大会開催・運営方法の見直し
  - (2) 開催地、会場および予算の検討
5. 第 18 回（2021 年）神奈川県作業療法学会の学会長推薦
6. 委員会開催 4 回

## 公益法人化対策委員会

1. 部会の開催
  - (1) 部署内の会議：適宜開催（関連機関との調整会議時に実施）
  - (2) その他必要となる部署及び関連機関（事務局、財務部、規約委員会等）との連携調整会議 年4回
2. 公益法人化に向けたロードマップの再検討
3. 公益法人化準備事業（会員への周知ならびにその一環とする事業の開催）
  - ・県士会ニュース等へ記事の掲載
  - ・当委員会主催で当会の事業費を使用せず公費（公募のもの）を使用した単発の公益事業の開催
4. 公益法人格対応の定款および規約等の再検討
5. 公益法人化に関する情報収集
6. 県内の公益事業に関する情報収集

## 生活行為向上マネジメント推進委員会

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進に取り組む

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催  
生活行為向上マネジメント研修会 2回（上半期1回，下半期1回）
2. 生活行為向上マネジメントを活用した事例の集積  
事例報告会 適宜（最大5回）
3. 生活行為向上マネジメントを活用している事業所の把握
4. 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の募集
5. 広報誌に生活行為向上マネジメントに関する記事を掲載

## 認知症対策委員会

1. 研修会開催：年2回
  - (1) OT協会提供の資料をもとに基礎知識および臨床展開を想定した応用的内容で実施し受講しやすさを工夫
    - ・横浜地区で日曜日1日開催し半日参加も可とする
    - ・受講資格を多職種へも広げる
  - (2) OT協会提供の資料をもとに基礎知識の提供  
地域密着型で実施
    - ・平日夜間に短時間開催
    - ・受講資格を多職種へも広げる
  - (3) 他部門との共同開催への検討

2. 認知症関連の情報収集および情報発信
  - (1) 「オレンジ☆マルシェ ひとりひとりがサポーター」
    - ・継続運営
    - ・他部門との連携について検討
  - (2) 認知症のある方の活動と参加の現状について情報収集
3. 認知症関連団体との協力・連携
  - (1) 「認知症の人と家族の会」
    - ・リスクマネジメントへの対応
    - ・単発の委員外参加希望者受け入れの準備
    - ・当事者対応の充実
  - (2) 「認知症をにんちしよう会」
    - ・イベント時の委員外参加希望者受け入れの準備
  - (3) 他部門との連携について情報収集・検討
4. 部内会議
  - (1) 通常会議・メール会議およびウェブ会議

## 地域包括ケアシステム推進委員会

高齢社会を迎え、誰しものが住み慣れた地域で生き生きと生活ができるように各自治体の現状に応じて地域づくりを進める動きが検討および実施され始めた

当県士会においても作業療法士の知識、技術が地域住民の健康に寄与できることを証明し、かつ実践していくために 2016 年度臨時総会において当委員会が設置された

2019 年度においては横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の拡大、会員の地域支援活動への参加促進、県士会による地域支援事業の実施を軸に進めていく

1. 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への参画
2. 当委員会主催による地域支援活動の実施
3. 地域包括ケアシステムに関する人材育成研修の実施
4. 神奈川県内市町村での介護予防事業への参画
5. 地域支援事業の情報収集および県士会他部署との連携

## エリア化推進委員会

1. 委員会 10 回程度開催予定
2. 交流会の開催について 県内 8 か所
3. エリア化に関する情報発信
4. その他エリア化推進に関すること

## 第2号議案 2019年度（令和元年度）予算案について

### 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2019年度予算(案)

収入の部			
<b>会費収入</b>			<b>17,360,000</b>
正会員会費(4月2230名+新規200名)	17,310,000	賛助会員会費(5社)	50,000
<b>研修会費収入</b>			<b>3,150,000</b>
制度対策部	100,000	スキルアップ研修	1,050,000
現職者共通研修	700,000	地域リハ	250,000
現職者選択研修	360,000	生活行為向上マネジメント	360,000
事例報告登録制度研修	5,000	認知症対策	145,000
実習指導者研修	100,000	地域包括ケアシステム推進委員会	80,000
<b>助成金収入</b>			<b>150,000</b>
生涯教育講座	150,000		
<b>広告収入</b>			<b>50,000</b>
<b>雑収入</b>			<b>18,000</b>
<b>運営準備金取り崩し</b>			<b>2,281,000</b>
<b>収入合計</b>			<b>23,009,000</b>

支出の部					
<b>事務局</b>					<b>9,010,000</b>
給与手当	3,000,000	賃借料	1,560,000	負担金	0
福利厚生費	80,000	光熱水費	300,000	消耗備品費	200,000
会議費	400,000	広告宣伝費	50,000	備品費	300,000
旅費交通費	550,000	渉外費	100,000	その他活動費	150,000
消耗品費	200,000	通信運搬費	700,000	雑費	20,000
印刷製本費	200,000	委託費	1,000,000	法人住民税	0
修繕費	100,000	諸謝金	50,000	租税公課	10,000
支払い手数料	10,000	保険料	30,000		
<b>財務部</b>					<b>20,000</b>
福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
会議費	4,800	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	8,000	渉外費	0	消耗備品費	5,000
消耗品費	0	通信運搬費	2,200	備品費	0
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0
<b>学術部</b>					<b>1,435,000</b>
福利厚生費	90,000	支払い手数料	7,000	諸謝金	285,000
会議費	145,000	賃借料	75,000	負担金	0
旅費交通費	230,000	渉外費	0	消耗備品費	10,000
消耗品費	27,000	通信運搬費	34,000	備品費	0
印刷製本費	500,000	委託料	30,000	雑費	2,000
<b>教育部</b>					<b>950,000</b>
福利厚生費	37,000	支払い手数料	7,000	諸謝金	300,000
会議費	10,000	賃借料	250,000	負担金	0
旅費交通費	93,000	渉外費	3,000	消耗備品費	0
消耗品費	10,000	通信運搬費	230,000	備品費	0
印刷製本費	10,000	委託料	0	雑費	0
<b>広報部</b>					<b>3,404,000</b>
福利厚生費	32,500	支払い手数料	50,000	諸謝金	0
会議費	95,500	賃借料	120,000	負担金	0
旅費交通費	123,000	渉外費	3,000	消耗備品費	0
消耗品費	232,500	通信運搬費	1,497,500	備品費	0
印刷製本費	1,250,000	委託料	0	雑費	0
<b>福利部</b>					<b>360,000</b>
福利厚生費	112,000	支払い手数料	0	諸謝金	0
会議費	23,500	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	50,000	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	86,500	通信運搬費	30,000	備品費	0
印刷製本費	57,400	委託料	0	雑費	600
<b>地域リハビリテーション部</b>					<b>880,000</b>
福利厚生費	45,600	支払い手数料	0	諸謝金	181,800
会議費	148,000	賃借料	134,000	負担金	0
旅費交通費	179,000	渉外費	1,700	消耗備品費	6,000
消耗品費	14,200	通信運搬費	28,700	備品費	0
印刷製本費	135,000	委託料	0	雑費	6,000
<b>制度対策部(社会保障制度対策事業班, 福祉用具対策事業班, 災害対策事業班)</b>					<b>330,000</b>
福利厚生費	24,000	支払い手数料	2,000	諸謝金	58,000
会議費	44,000	賃借料	70,000	負担金	0
旅費交通費	72,000	渉外費	0	消耗備品費	3,000
消耗品費	8,500	通信運搬費	16,000	備品費	2,000
印刷製本費	23,500	委託料	5,000	雑費	2,000

常設委員会	<b>規約委員会</b>			<b>10,000</b>
	福利厚生費	0	支払い手数料	0
	会議費	3,000	賃借料	2,000
	旅費交通費	3,000	渉外費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	0
	印刷製本費	0	委託料	0
	諸謝金	0	負担金	0
	消耗備品費	2,000	備品費	0
	雑費	0		0
	<b>ウェブサイト管理委員会</b>			<b>40,000</b>
	福利厚生費	0	修繕費	0
	会議費	11,800	賃借料	0
	旅費交通費	20,000	渉外費	0
	消耗品費	7,000	通信運搬費	1,200
	印刷製本費	0	委託料	0
	諸謝金	0	負担金	0
消耗備品費	0	備品費	0	
雑費	0		0	
<b>学会評議委員会</b>			<b>60,000</b>	
福利厚生費	0	支払い手数料	0	
会議費	19,200	賃借料	0	
旅費交通費	28,000	渉外費	3,000	
消耗品費	8,000	通信運搬費	1,000	
印刷製本費	800	委託料	0	
諸謝金	0	負担金	0	
消耗備品費	0	備品費	0	
雑費	0		0	
<b>選挙管理委員会</b>			<b>60,000</b>	
福利厚生費	0	支払い手数料	0	
会議費	10,000	賃借料	0	
旅費交通費	20,000	渉外費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	20,000	
印刷製本費	10,000	委託料	0	
諸謝金	0	負担金	0	
消耗備品費	0	備品費	0	
雑費	0		0	
特設委員会	<b>公益法人化対策委員会</b>			<b>60,000</b>
	福利厚生費	0	支払い手数料	0
	会議費	24,000	賃借料	0
	旅費交通費	30,000	渉外費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	1,000
	印刷製本費	0	委託料	0
	諸謝金	0	負担金	0
	消耗備品費	0	備品費	5,000
	雑費	0		0
	<b>生活行為向上マネジメント推進委員会</b>			<b>270,000</b>
福利厚生費	15,200	支払い手数料	3,000	
会議費	11,200	賃借料	80,000	
旅費交通費	47,500	渉外費	0	
消耗品費	1,000	通信運搬費	3,000	
印刷製本費	25,000	委託料	0	
諸謝金	80,500	負担金	0	
消耗備品費	2,000	備品費	1,000	
雑費	600		0	
<b>認知症対策委員会</b>			<b>400,000</b>	
福利厚生費	20,000	支払い手数料	2,000	
会議費	55,000	賃借料	60,000	
旅費交通費	80,000	渉外費	10,000	
消耗品費	30,000	通信運搬費	10,000	
印刷製本費	64,000	委託料	0	
諸謝金	60,000	負担金	5,000	
消耗備品費	0	備品費	0	
雑費	4,000		0	
<b>地域包括ケアシステム推進委員会</b>			<b>210,000</b>	
福利厚生費	0	支払い手数料	2,000	
会議費	35,000	賃借料	20,000	
旅費交通費	45,000	渉外費	0	
消耗品費	12,000	通信運搬費	0	
印刷製本費	0	委託料	0	
諸謝金	70,000	負担金	0	
消耗備品費	25,000	備品費	0	
雑費	1,000		0	
<b>エリア化推進委員会(仮称)</b>			<b>290,000</b>	
福利厚生費	0	支払い手数料	0	
会議費	60,000	賃借料	0	
旅費交通費	140,000	渉外費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	0	
印刷製本費	0	委託料	90,000	
諸謝金	0	負担金	0	
消耗備品費	0	備品費	0	
雑費	0		0	
その他	<b>助成金</b>			<b>400,000</b>
	研究助成	400,000		
	<b>積立金</b>			<b>1,000,000</b>
	事務局積み立て	公益化準備、システム更新など		1,000,000
	<b>神奈川県作業療法学会 実行委員会</b>			<b>1,600,000</b>
	開催年	会場費+運営費(残り)		1,600,000
	<b>臨床作業療法大会 実行委員会</b>			<b>900,000</b>
	準備年	会場費(半額¥40万)+運営費(1年分¥50万)		900,000
	<b>他団体会費</b>			<b>320,000</b>
	神奈川県医療専門職連合会、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会			320,000
<b>予備費(補正予算分)</b>			<b>1,000,000</b>	
<b>支出合計</b>			<b>23,009,000</b>	

### 第 3 号議案 規約の承認について

#### 1. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 謝金規程の修正について

現 行	改 定 案
<p>(謝金の基準)</p> <p><b>第 4 条</b> 謝金は別表に定める基準に基づき支払う。ただし、交通費及び宿泊費並びに日当については、本会費用弁償規則及び費用弁償規則細則を準用するものとする。</p> <p>(本規程の変更及び廃止)</p> <p><b>第 5 条</b> 本規則の変更または廃止は、<b>理事会及び総会</b>の議決を経なければならない。</p> <p>(定款及び法令への準拠)</p> <p><b>第 6 条</b> 本規程に規定のない事項については、本会定款及び一般社団法人及び一般社団法人に関する法律(平成 18 年法律第 48 号)、その他の法令による。</p>	<p>(謝金の基準)</p> <p><b>第 5 条</b> 謝金は別表に定める基準に基づき支払う。ただし、交通費及び宿泊費並びに日当については、本会費用弁償規則及び費用弁償規則細則を準用するものとする。</p> <p>(本規程の変更及び廃止)</p> <p><b>第 6 条</b> 本規則の変更または廃止は、<b>理事会</b>の議決を経なければならない。</p> <p>(定款及び法令への準拠)</p> <p><b>第 7 条</b> 本規程に規定のない事項については、本会定款及び一般社団法人及び一般社団法人に関する法律(平成 18 年法律第 48 号)、その他の法令による。</p>

#### 2. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 役員選挙規程の修正について

現 行	改 定 案
<p>(立候補の届出)</p> <p>第 5 条 <b>会長、理事及び監事の選挙</b>に立候補する場合は、本会所定の文書にてその旨を選挙管理委員長に届出なければならない。</p> <p>2 正会員の推薦による立候補者は、正会員 5 名以上の推薦者を必要とし、推薦者の代表が所定の文書で届出を行うものとする。</p>	<p>(立候補の届出)</p> <p>第 5 条 <b>理事及び監事の選挙</b>に立候補する場合は、本会所定の文書にてその旨を選挙管理委員長に届出なければならない。</p> <p>2 正会員の推薦による立候補者は、正会員 5 名以上の推薦者を必要とし、推薦者の代表が所定の文書で届出を行うものとする。</p>

< 参考 >

定款 (役員を選任等)

第 27 条 本会の役員は、代議員による無記名直接選挙により、総会において選任する。

**2 会長及び副会長並びに事務局長は、理事の互選によって選任し、理事の員数に含める。**

3 監事は他の役員もしくは使用人と兼ねることができない。

- 4 役員のうち、役員のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別な関係にある者の合計数は、役員総数の3分の1を超えてはならない。
- 5 他の同一の団体の役員又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある役員の合計数は役員総数の3分の1を超えてはならない。
- 6 役員に異動があった場合には2週間以内に登記し、遅滞なくその旨を行政庁に届けなければならない。

#### 第4号議案 役員改選について \*届け出順

役職	立候補者	所属
理事	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎
理事	吉本 雅一	医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院
理事	佐々木 秀一	北里大学病院
理事	大郷 和成	放課後等デイサービス 遊びりパークリノア
理事	錠内 広之	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院
理事	木村 修介	アイ・エル訪問看護ステーション
理事	野本 義則	自宅会員
理事	佐藤 範明	自宅会員
理事	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院
理事	佐藤 良枝	曾我病院 認知症疾患医療センター
理事	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花
理事	神保 武則	北里大学病院
理事	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな
理事	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
理事	神田 崇央	株式会社 Grant
理事	遠藤 陵晃	よこはま YMCA 学院専門学校
理事	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
理事	西川 航平	介護老人保健施設 こもれび
監事	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター
監事	鶴見 隆彦	湘南医療大学

# 資料

1. 2018年度 後援・協賛等一覧

2018年4月21日	神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク研究会	平成30年度多職種リハビリ勉強会-Medical Joint Festival-	後援
4月28日～29日	第30回日本ハンドセラピ学会学術集会	第30回日本ハンドセラピ学会学術集会	後援
5月26日～27日	一般社団法人神奈川県臨床工学技士会	第28回日本臨床工学会及び 平成30年公益社団法人日本臨床工学技士会総会	後援
7月20日～21日	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2018	後援
7月28日	一般社団法人交通事故被害者家族ネットワーク	医療福祉従事者等向け 交通事故被害者支援神奈川県講習会	後援
8月29日～31日	第33回リハ工学カンファレンスinあつぎ実行委員会	第33回リハ工学カンファレンスinあつぎ	後援
9月1日～2日	日本リハビリテーション工学協会車いすSIG	第48回日本リハビリテーション工学協会車いすSIG講習会	後援
10月21日	神奈川県保険医協会	第22回医療・健康フェスティバル	後援
10月25日～27日	第3回てんかんをめぐるアート展企画委員会	第3回てんかんをめぐるアート展	後援
11月12日	公益社団法人 神奈川県病院協会	第37回神奈川県病院学会	後援
2019年2月2日	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団	第15回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム	共催
2月16日	神奈川県介護支援専門員協会	第17回神奈川県介護支援専門員研究大会	後援
2月17日	岡山学童保育連絡協議会	地域で育て子どもたち 学童保育×作業療法 地域(子ども)OT スキルアップ研修会	後援
3月2日～3月2日	一般社団法人神奈川県臨床検査技師会	多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会	後援
3月9日	日本医療マネジメント学会	第18回神奈川支部学術集会	後援
3月24日	県西地区リハビリテーション連絡協議会	リハビリフェスタ2019	後援

2. 2018 年度 賛助会員一覧

株式会社 柴橋商会	学校法人昭和大学 昭和大学保健医療学部
作業療法総合研究所	
パシフィックサプライ株式会社	「進」リハの集い

3. 平成 29 年度 名誉会員 一覧

田中 節子 先生	浅井 憲義 先生
----------	----------

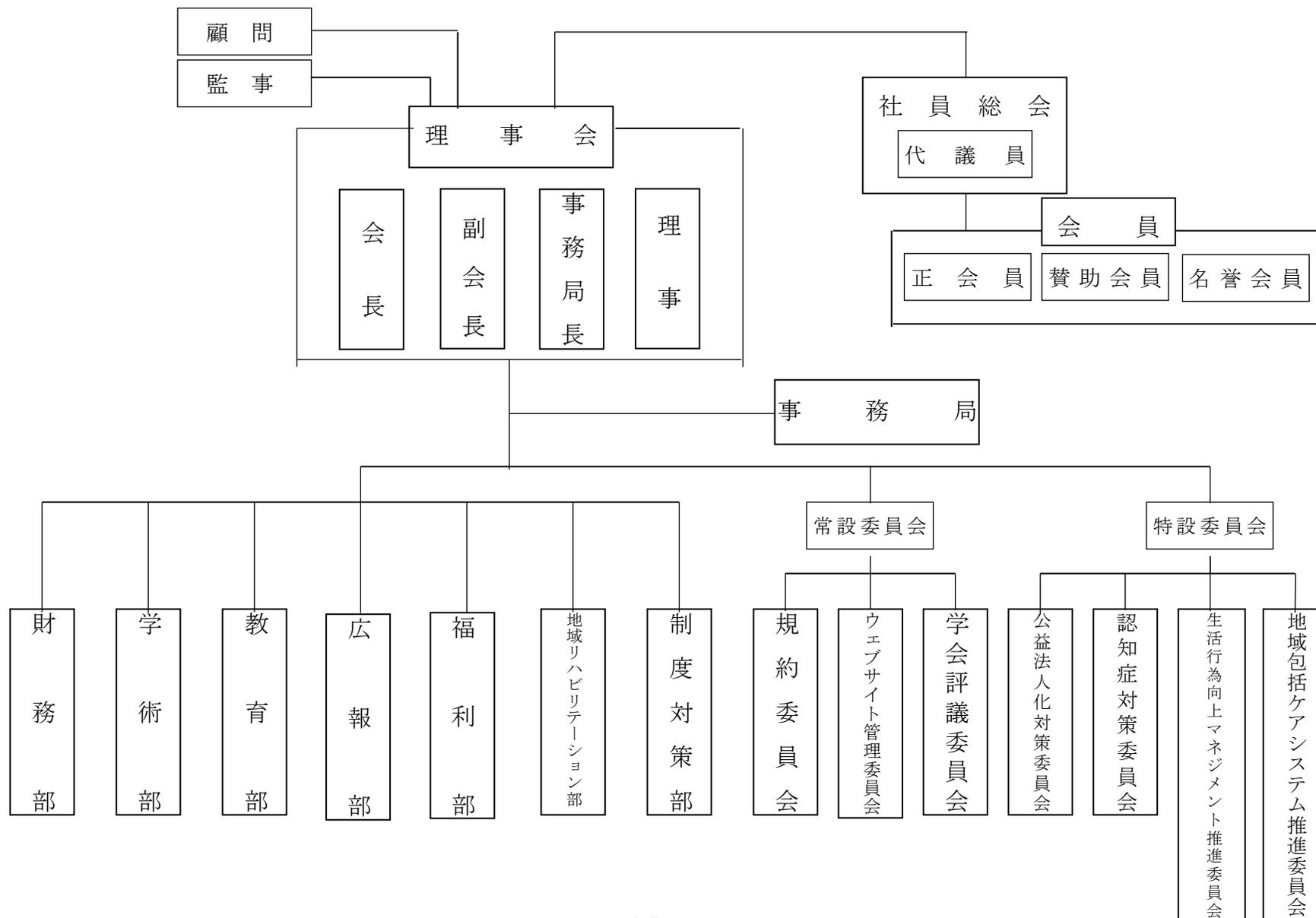
4. 平成 29 年度 他組織・団体等の県士会代表委員名簿

団体名	委員会名	役職	代表
神奈川県医療専門職連合会	広報委員会	常任理事	錠内会長
		理事	野々垣副会長
		理事	金山事務局長
		委員	神保理事
神奈川県病院協会	学術委員会	事業委員	錠内会長
神奈川県リハビリテーション協議会		委員	木村副会長
神奈川県エイズ対策推進協議会			錠内会長
公益社団法人かながわ福祉サービス振興会	平成30年度神奈川県介護人材確保対策推進会議		金山事務局長
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会		委員	木村理事
		委員	遠藤理事
		委員	佐藤筆
神奈川県介護予防従事者研修会		運営委員	遠藤理事

5. 一般社団法人 日本作業療法士協会 特別表彰者 一覧

平成 27 年度表彰	渡邊 慎一 氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
平成 28 年度表彰	鶴見 隆彦 氏 (湘南医療大学)
平成 30 年度表彰	杉本 由美子 氏 (重度身体障害者と共に歩む会)

6. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 組織図 (平成 30 年度)



## 7. 第4期（2017/2018年度）理事・監事名簿

役職		氏名	勤務先	勤務体制
代表理事	会長	錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
理事	副会長	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな	非常勤
理事	副会長・生活行為向上 マネジメント推進委員会	木村 修介	RURA アイ・エル訪問看護ステーション	非常勤
理事	事務局長	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎	非常勤
理事	財務部	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院	非常勤
理事	学術部	佐々木 秀一	北里大学病院	非常勤
理事	教育部	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部	非常勤
理事	広報部	神保 武則	北里大学病院	非常勤
理事	福利部	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院	非常勤
理事	地域リハビリテーション部	遠藤 陵晃	クローバーホスピタル	非常勤
理事	制度対策部	名古屋 和茂	横浜YMCA学院専門学校	非常勤
理事	規約委員会	野本 義則	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	非常勤
理事	ウェブサイト管理委員会	作田 浩行	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	学会評議委員会	村越 妙美	川崎医療生活協同組合介護福祉事業部	非常勤
理事	公益法人化対策委員会	澤口 勇	藤沢病院	非常勤
理事	認知症対策委員会	佐藤 良枝	認知症疾患医療センター 曾我病院	非常勤
理事	地域包括ケアシステム 推進委員会	大郷 和成	遊びりパークLino'a(リノア)	非常勤
監事		田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター	非常勤
監事		棚澤 直美	湘南医療大学リハビリテーション学科	非常勤
特別顧問		渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター	非常勤

※役員は職場を持っており報酬はありません

8. 第4期（2017/2018 年度）各部・委員名簿

会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長		
監査	鏡内 広之 湖澤 直子	監査	田中 ゆかり	顧問	野々垣 睦美 渡邊 慎一		
事務局	担当理事 (事務局長)	教育部	担当理事	福利部	担当理事		
	担当理事		部員		会計担当		
	事務局長次長		福田 舞		部員	須崎 可奈子	
	部員		石井 有希		部員	岩切 美帆子	
			菊池 康子			畠中 佳代子	
			関口 直也			勝山 基史	
			金木 貴芳			荻野 祥代	
			本藤 広美			田中 達也	
			大場 文			池嶋 孝二	
			栗田 奈津子			加世田 翼	
金子 康		松岡 太一					
財務部	担当理事	広報部	担当理事	地域対策部	担当理事		
	部員		ニュース班 (班長)		福祉用具班 (班長)	野本 義則	
事務局	担当理事	広報部	部員	社会保険制度 対策事業班 災害対策(班 長)・自動車 特別支援教育 とOT担当	部員		
	会計担当		神保 武則		山崎 あゆみ		
	スキルアップ 研修(身体障 害系)		出口 弦舞		高吉 亮平		
	部員		梶原 真樹		佐藤 愛	加藤 結花里	
			重田 明日香		丸岡 ちひろ	田畑 雄吉	
			田中 秀和		安田 優子	宮田 和典	
			峯山 瞳		山岡 洸	近藤 由季子	
			佐藤 慶一		井部 賢吾	石渡 大地	
			川端 遼磨		松井 洋鷹	長田 美奈子	
			西前 英紀		清野 由香里	山根 剛	
江川 純香		丸岡 ちひろ	西 則彦				
事務局	川口 敬之	広報部	水野 友和	ウェブ サイト 管理委 員会	担当理事		
	齋藤 梢		佐藤 隼		委員		
	鈴木 恵利香		久保田 友佳		担当理事		
	学術誌担当部 員(編集委員)		白濱 勲二		有田 健吾	委員	
			幅田 智也		増田 理恵	野々垣 睦美	
	学術誌担当部 員(編集委員)		渡邊 誠		福島 ひとみ	学会評 議委員 会	担当理事
			渡部 喬之		丸井 智子		
	学術誌担当部 員(編集委員)		嘉部 匡朗		松本 佳代子	岩切 美帆子	
			青木 啓一郎		竹村 祐樹	荻野 祥代	
	学術部		内堀 謙吾		大道 伊奈子	小林 千裕	
迫田 裕司		原 萌夏	戸塚 香代子				
渡部 喬之		三野 沙織	濱口 陽介				
査読委員		林 純子	額谷 文太	机 里恵			
		早川 裕子	花形 真	木村 修介			
澤口 勇		平田 康太郎	渡邊 隼人				
坂本 俊夫		荻野 耕一	木村 勉				
坂本 安令		山本 潤	三宅 純平				
福留 大輔		遠藤 陵晃	机 里恵				
川口 敬之		金沢 隆之	三嶋 直己				
坂本 豊美	早川 大貴	大沼 涼					
高橋 香代子	原島 淳	木村 嘉子					
学術部	渡邊 誠	青木 紀恵	藤井 真人				
	秋本 浩	森木 勇一郎	平石 暢之				
	内山 博之	湯澤 大輔	佐藤 良枝				
	窪田 聡	佐藤 麻裕子	杉本 尚久				
	篠崎 雅江	足立 恵美	新山 祐貴				
	須鎌 康介	一木 愛子	小室 容子				
	高橋 博美	井上 亜紀子	片切 深央				
	長谷 里恵	坂内 大祐	椎野 光優				
	齋藤 和夫	西浦 淳一郎	小澤 隆				
	浅井 憲義	山田 祐衣	足立 雄介				
藤本 幹	佐藤 範明	山口 拓也					
学術部	佐々木 祥太郎	浅黄 真紀子	大郷 和成				
	田邊 浩文	小椋 瑛里	吉田 倫子				
	鈴木 雄介	中川 智美	木下 剛				
	増山 英理子	札野 優	川上 新				
	中西 理佐子	渋谷 拓郎	山口 由花				
	佐々木 祥太郎	高森 麻貴	佐藤 佳央里				
	研究助成担当 部員	岩崎 竜弥	片岡 直人				
	宮崎 道輝	山崎 純一	中井 琢哉				
	石川 哲也	佐藤 夢利那	山岡 洸				
	福留 大輔	佐藤 隼	西川 航平				
規約委 員会	担当理事	木下 剛	池嶋 孝二				
	部員	増子 拓真					
公益法 人化対	担当理事	重森 七美					

9. 各部・委員会分掌事項

<p>事務局</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の入退会に関する事</li> <li>2. 会員名簿に関する事</li> <li>3. 内外の公文書に関する事</li> <li>4. 議案書、会議資料、議事録に関する事</li> <li>5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事</li> <li>6. 総会議事運営に関する事</li> <li>7. 儀礼関係、内外の来信に関する事</li> <li>8. 資産の維持・管理に関する事</li> <li>9. 各種刊行物の発行と保管に関する事</li> <li>10. その他各部に属しないことに関する事</li> </ol>
<p>財務部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算編成に関する事</li> <li>2. 会費その他の収入活動に関する事</li> <li>3. 支出、決算に関する事</li> <li>4. その他財務に関する事</li> </ol>
<p>学術部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の臨床能力向上に関する事</li> <li>2. 会員の実習指導能力向上に関する事</li> <li>3. 会員の職場管理能力向上に関する事</li> <li>4. 会員の研究活動推進に関する事</li> <li>5. 会員の学術的発展に関する事</li> <li>6. 学術誌編集に関する事</li> <li>7. その他学術に関する事</li> </ol>
<p>教育部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社団法人日本作業療法士協会生涯教育制度の推進、運営に関する事</li> <li>2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事</li> <li>3. その他生涯教育に関する事</li> </ol>
<p>広報部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関する事</li> <li>2. 国民、神奈川県民に対する作業療法の広報に関する事</li> <li>3. その他広報に関する事</li> </ol>
<p>福利部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する事</li> <li>2. 会員間の交流に関する事</li> <li>3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関する事</li> <li>4. 会員の倫理に関する事</li> <li>5. 神奈川県内の求人・求職に関する事</li> <li>6. その他福利厚生に関する事</li> </ol>

地域リハビリテーション部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における作業療法の普及・推進に関すること</li> <li>2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関すること</li> <li>3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に関すること</li> <li>4. その他地域リハビリテーションに関すること</li> </ol>
制度対策部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度に関すること</li> <li>2. 作業療法関連法規に関すること</li> <li>3. 福祉用具の普及・発展に関すること</li> <li>4. その他福祉用具に関すること</li> <li>5. 災害対策に関すること</li> <li>6. その他作業療法関連制度に関すること</li> </ol>
規約委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定款の管理に関すること</li> <li>2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関すること</li> <li>3. その他規約に関すること</li> </ol>
ウェブサイト管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブサイトの管理に関すること</li> <li>2. メールアカウントの管理に関すること</li> <li>3. その他ウェブサイトに関すること</li> </ol>
学会評議委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の計画に関すること</li> <li>2. 神奈川県作業療法学会学会長，神奈川県臨床作業療法大会長の推薦に関すること</li> <li>3. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の適正遂行に関すること</li> <li>4. 神奈川県作業療法学会実行委員会，神奈川県臨床作業療法大会実行委員会との連絡・調整に関すること</li> <li>5. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の資料保管に関すること</li> <li>6. その他神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会に関すること</li> </ol>
生活行為向上マネジメント推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活行為向上マネジメントの普及・推進に関すること</li> <li>2. 生活行為向上マネジメントについて，日本作業療法士協会との連携に関すること</li> <li>3. 生活行為向上マネジメント実施状況の調査に関すること</li> <li>4. その他生活行為向上マネジメントに関すること</li> </ol>
認知症対策委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症に対する作業療法の普及・推進に関すること</li> <li>2. 認知症に関連する他職種・機関・組織との連携に関すること</li> <li>3. その他認知症に関すること</li> </ol>

公益法人化対策委員会	1. 公益認定申請・更新に関すること 2. 公益法人の登記に関すること 3. 公益目的事業に関すること 4. その他公益法人格取得に関すること
地域包括ケアシステム 推進委員会	1. 地域包括ケアシステムの推進に関すること 2. 地域支援に関する諸施策において、他職種、他団体との連携に関すること 3. 県民の健康に寄与する作業療法の有効性を実証できる施策に関すること

10. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2018年度版)

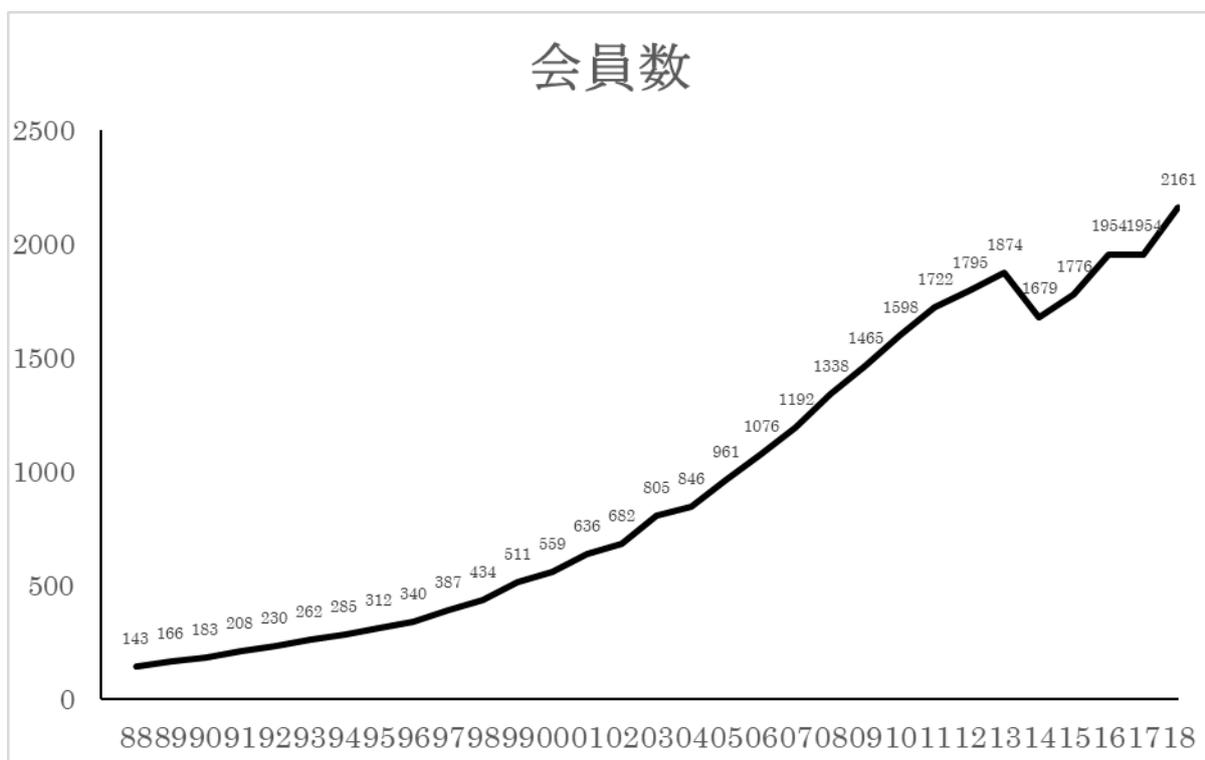
**I 会員データ**

**18年度現在会員数** **2184名**

**内訳 施設会員 (常勤) 1985名**

**自宅会員 (非常勤・休業) 176名**

**休会会員 23名**



## 認定作業療法士関連データ

認定作業療法士	53名
基礎研修終了者	137名

※認定取得者を含まない。

## 専門作業療法士取得内訳人数

専門作業療法士領域	人数(名)
高次脳機能障害	2
福祉用具	1
手外科	4
特別支援教育	1
訪問作業療法	1
認知症	該当なし
神経科急性規	該当なし
摂食嚥下	該当なし
合計	9